各 位

町会長

町会ふれあいコール事業について(お願い)

(高齢者世帯等の見守り・声かけ事業)

町会では、高齢者世帯等（一人暮らし、高齢夫婦、障がい者世帯）の皆さんが安心して暮らしていただけるように、市や社協とともに町会役員や各種委員が隣宅の御協力をいただきながら見守り・声かけ事業（ふれあいコール事業）を行っております。つきましては、貴殿におかれましてもこの事業に御協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、この事業は個人のプライバシーに関することでもあり、見守られる対象者によっては「見守り」をされていることそのものを嫌う方もいます。よって、あくまでもそっと見守ってください。

見守り・声かけ事業には責任や権限はありません、誰もが普段おこなっている隣近所の「声のかけあい」の延長線の行動で十分です。これらを御理解の上、御協力をお願いいたします。

1. 対象者の見守り・声かけの方法

見 守 り	声 か け
1. 朝、晩など日常の挨拶による声かけや世間話などで変わった点はないか	1. 声をかけても応答がない
2. 雨戸やカーテンが閉まったままになっていないか	2. いつも返事があるのにない
3. 洗濯物が干したままになっていないか	3. その他、様子がいつもと違う
4. 新聞や郵便物がたまっていないか	
5. その他、様子がいつもと違うと感じないか	

2. 対象者が変だと感じたら、次の行動を

1. 声を掛けて、問題がなければそのままとする
2. 問題があったときは、119番（あるいは110番）通報の必要がある場合は優先して行い、あわせて町会長や社協支部長、民生委員、在宅福祉員等のいずれかに連絡してください

3. 連絡を受けた●町会長●社協支部長●民生委員●在宅福祉員の方は、次の行動を

1. 可能な限り早く対象者のところへ行き、状況をつかんでください
2. 状況により119番（あるいは110番）通報をしてください
3. 119番（110番）に通報済み、あるいは病院等へ搬送済みであれば、親族や関係機関へ連絡してください